

熱帯魚カタログ

南米や東南アジアなど熱帯地方原産の美しい熱帯性淡水魚たち。古くから観賞魚として親しまれており、きちんとした飼育システムで飼育を行えば飼育が比較的容易な種類も多い。流通するほとんどの種類はブリードされた養殖個体であることが多い。

文=湧口真行、鶴田賢二 写真=湧口真行



ラスボラヘテロモルファ

体の黒い模様から、通称バチ。東南アジア原産。



ラミーノーズテトラ

頭部の赤い色彩が特徴のカラシンの仲間。群泳が美しい。



ネオンテトラ

南米原産のカラシン。群泳させることで魅力が現れる。



エンゼルフィッシュ

様々な特徴が現れた、品種改良種も人気が高い。



ニューギニアレインボー

群れる習性が強く、時折、伸長したヒレを広げる姿が美しい。



ネオンドワーフレインボー

遊泳性が強く混泳水槽でもよく目立つ。ニューギニア産。



ゴールデンハニードワーフグラミー

泳ぎながら長く伸びた腹ビレを触覚のように動かす。



国産グッピー

ドイツエロータキード・グッピー長いヒレを優美になびかせるように泳ぐ姿が、印象的。



ディスカス

東南アジア養殖で、弱酸性の新しいめの水を好む。



アルビノコリドラスアエネウス

底層付近を活発に泳ぐ、混泳水槽向きのナマズの種類。



トランスルーセント・グラスキャット

透明で骨が透けて見える、東南アジア原産のナマズ。



ミッキーマウスプラティ

尾ビレの付け根のミッキー模様が特徴で、人気も高い。



ヤマトヌマエビ

水草などに生えるコケもよく食べる、お掃除屋さん。



セルフィンプレコ

水槽の掃除屋として能力が高い。成長が早く大型になる。



シルバーアロワナ

アマゾンを代表する魚のひとつ。1mを超える大型種。



オトシンクルス

ガラス面や水草の葉に生えるコケを綺麗にしてくれる。

水草カタログ

水景に映える美しい緑や赤の色彩をした水草たち。種類も豊富で飼育の難易度もさまざまだがアクアリウム TOJO では比較的飼育が簡単な種類を厳選して使用している。植物なので光によって光合成をするので管理には水槽用の照明も必要不可欠となる。



プリクサショートリーフ

葉が密に茂り、植栽にボリュームを出しやすい。



グリーンロタラ

鮮やかな緑色の葉が密に生える。高光量を好む。



アンブリア

輪生するライトグリーン羽根状の葉の、有茎草。



アヌビアス・ナナ

成長が穏やかで低光量でも育成できる。西アフリカ原産。



ミニ・テンプルプラント

草丈が低く中～前景でも使いやすい、品種改良種。



アマゾンソード

南米原産のエキノドルス。根張りがよく成長も早い。



レッド・ルドウィジア

北中米原産で、赤く丸みの強い葉が美しい水生植物。



ハイグロフィラ・ロザエネルビス

グリーンとピンクの淡い葉色と白い葉脈が美しい。



スクリューパーリスネリア

捻れたテープ状の葉が美しい。地下茎で殖える。



ハイグロフィラ・ポリスペルマ

水中葉にもなりやすく、適応範囲が広い強健種。



ミリオフィラム・エラチノイデス

細かく別れた羽根状の葉が輪生する。葉が柔らかい。



アマゾンチメドグサ

高光量の環境ならば、水中でも水上でも育てやすい。



ワイローモス

流木や岩などに着生させる。水陸どちらでも育成可能。



ロタラ・インディカ

赤系水草の代表種。レイアウトによく使われる。



クリプトコリネ・ウエンディーローブ

東南アジア原産の、サトイモ科の水生植物。



マイクロソリウム

水生の着生シダ植物で、水通りのよい環境を好む。

沖縄やインドネシア、ハワイなど南の島の温かい海に生息する色彩鮮やかな美しい海洋性熱帯魚たち。そんな彼らが元気に泳ぐ水景はまさに海中世界。室内にいながら水族館さながらの美しい海中世界を手軽に再現できる海水魚を飼育するマリンアクアリウムも TOJO では手軽に楽しむ提案を行っている。

★ Seafood Fish Catalog ★

海水魚カタログ



ハタタテハゼ

伸びた背ビレと縞模様が特徴。人工飼料もよく食べる。



ナンヨウハギ

人気アニメ映画のキャラクターでお馴染みの人気種。



ハマクマノミ

真っ赤な体色から、通称トマト。比較的大型になる。



カクレクマノミ

イソギンチャクと共生。養殖も盛んに行われている。



フレイムエンゼル

まるで炎のような赤い体色が人気の小型ヤッコの人気種。



キイロハギ

草食性が強く、餌にレタスを与えている水族館もある。



コバルトスズメダイ

南国の雰囲気満点の人気種。和名は、ルリ・スズメダイ。



デバスズメダイ

温和な性質で協調性もあり、混泳水槽での群泳に向く。



ヒフキアイゴ

背ビレに毒を持つ。刺されると火を吹くような痛み。



アカネハナゴイ

群れて飼うとよく前に出てきて、餌食いも上がる。



マンジュウイシモチ

温和で群泳させるととても美しいイシモチの仲間。



プレラオポゴン・カウデルニー

稚魚を口の中で育てることで知られる温和な海水魚。



ホワイトソックス

脚部の色分けに、ご注目。白いハイソックスのよう。



スカンクシュリンプ

魚の体に付いた寄生虫を取ってくれる、クリーナー。



ハタタテダイ

長く伸びた背ビレが特徴。中層をホバリングして泳ぐ。



ヤエヤマギンポ

岩の隙間から顔を出す姿が可愛い。コケを食べる。

ブルーの照明に照らされた蛍光色がとても幻想的な水景を演出するサンゴの仲間。種類も非常に豊富でカラーや形状のバリエーションも豊富。海や水族館でしかみることができない美しいサンゴの仲間を身近で観賞できるのはアクアリウムの大きな魅力だ。

★ Coral Catalog ★

サンゴカタログ



チヂミトサカ

表面はザラリとした感触。好日性でよく開く。



マメスナギンチャク

青系のLED照明だと、美しい蛍光色を楽しめる。



ディスクコーラル

サンゴ飼育の入門種で、バリエーションも多く美しい。



スターポリプ

芝生のように密生したポリプが美しい人気種。



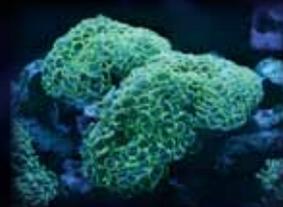
クサビライシ

底面に転がるように生息する単体性の不思議なサンゴ。



コエダナガレハナサンゴ

タコの足のような、枝状に分かれた触手が特徴。



ナガレハナサンゴ

密生した触手がゆらゆら揺れる、飼育しやすいLPS。



オオバナサンゴ

多くのカラーパターンがある。別名ヒユサンゴ。



ヤギ

状態がよいとポリプがよく開く。硬い骨格を作る。



イボヤギ

褐虫藻を持たない陰日性。餌を与えるとよく開く。



ハナガササンゴ

通称、ハナガサロング。半球形の骨格をもつ。



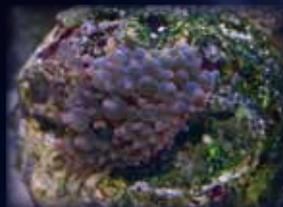
ウミアザミ

飼育には、強い光と適度な水流が必要になる。



シライトイソギンチャク

水槽に馴染むと丈夫で、クマノミとの相性もよい。



タマイタダケイソギンチャク

触手の先端が球状の可愛い小型のイソギンチャク。



サンゴイソギンチャク

グリーンやピンクなどのカラーバリエーションがある。



ハタゴイソギンチャク

触手の毒性が強く刺されると痛い。他種との接触に注意。